

令和元年度 第2回日進市障害者政策委員会

次 第

と き 令和2年2月17日（月）
午後2時30分から
ところ 日進市役所本庁舎4階第1会議室

1 あいさつ

2 報告事項

（1）障害者自立支援協議会の報告について（資料1）

3 議事

（1）第2次障害者基本計画の事業評価について（資料2）

（2）第3次障害者基本計画の事業評価について（資料3）

4 その他

○ 次回開催予定：令和2年6月頃（未定）

日進市障害者政策委員会委員名簿

	氏 名	備 考
1	◎ 瀧 誠	愛知淑徳大学福祉貢献学部教授
2	加藤 統祥	日進市身体障害者福祉協会
3	竹内 由美子	日進市手をつなぐ育成会
4	脇田 勝広	日進家族会
5	○ 須崎 賢司	日進市社会福祉協議会
6	山田 達巳	社会福祉法人 名東福祉会 レジデンス日進
7	寺井 陽一	中日青葉学園 わかば館
8	金山 和広	東名古屋医師会 日進支部
9	山田 翔	愛豊歯科医師会 日進支部
10	長谷川 清	日進薬剤師会
11	木村 誠子	愛知県瀬戸保健所
12	成田 ゆき江	日進市教育委員
13	住田 敦子	尾張東部権利擁護支援センター
14	二村 裕之	公募
15	鈴木 英雄	日進市商工会

○第２回日進市障害者自立支援協議会の報告について

- ・開催日時：令和元年１１月１８日（月） 午前１０時～
- ・場 所：日進市中央福祉センター２階 多機能室
- ・内 容
 - １ あいさつ
 - ２ 尾張東部圏域状況報告について
 - ３ 議 事
第５期日進市障害福祉計画・第１期日進市障害児福祉計画の
評価（平成３０年度実績）について

○第３回日進市障害者自立支援協議会の報告について

- ・開催日時：令和２年２月１３日（木） 午前１０時～
- ・場 所：日進市中央福祉センター２階 多機能室
- ・内 容
 - １ あいさつ
 - ２ 尾張東部圏域状況報告について
 - ３ 議 事
第６期日進市障害福祉計画・第２期日進市障害児福祉計画の
策定等について

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

1. 地域で安心して暮らせるまちづくり

1-1 障害福祉サービスの充実

地域で安心して暮らせるまちづくり

1-1 障害福祉サービスの充実

					ACTION				CHECK			
単位施策	事業名	事業概要	備 考	No.	5年間の計画 PLAN	事業費:千円	取り組み内容 DO	進捗状況	委員会評価(案)			
障害福祉計画の策定と推進	地域生活支援事業などの見直し	本計画の推進を図るため、地域生活支援事業や市の単独事業については、国県補助などの財源確保に努めるとともに、市民の意見を踏まえ、必要に応じた事業の見直しや整理統合を検討していきます。	介護福祉課 地域福祉課 (地域支援係) こども課	1-1-1	26年度	地域生活支援事業の実施 移動に関する支援の施策の検討	13,887	福祉有償運送などの拡充のための補助制度の準備として補助要綱案の作成、市内及び近隣自治体事業所への事業実施の周知のほか、国の地方創生交付金活用しての予算計上を行うなど、平成27年5月の公募に向けた準備に努めた。障害者タクシー料金助成事業の見直しについては、重度障害のある人の外出機会を促進するため、リフトタクシーの利用をしやすいよう自立支援協議会にも意見を求めつつ見直しの検討を行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					27年度	移動(福祉有償運送)に関する支援の施策の検討・実施	19,189	福祉有償運送等について、開設支援に係る補助制度を創設。実施団体を公募し、2団体選定した。障害者タクシー料金助成事業の見直しについては、外部評価意見を参考にするとともに、昨年度に引き続き自立支援協議会にも意見を求めながら、継続して検討を行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					28年度	移動(ボランティア輸送)に関する支援の施策の検討・実施 ※予算はタクシー助成分	13,077	障害者タクシー料金助成事業の対象事業者に福祉有償運送事業者2団体を追加したほか、昨年度に引き続き同事業の見直しを実施。自立支援協議会にも意見を求めながら、継続して検討を行い、リフト付タクシー料金助成を創設し翌年度から実施することとした。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					29年度	継続	8,718	福祉有償運送等について、事業者2団体の更新申請届出に対して、継続した実施を求める協議を行った。昨年度まで継続していた検討に基づき、リフト付タクシー料金助成を新たに実施した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					30年度	継続	8,122	福祉有償運送運営協議会において、本市の福祉有償運送事業の現状について報告し、引き続き福祉有償運送が必要であることを確認した。また、福祉有償運送ドライバー養成講座を翌年度から実施することとした。	実施	a	A	内容や進め方が適切である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

1. 地域で安心して暮らせるまちづくり

1-1 障害福祉サービスの充実

単位施策	事業名	事業概要	備 考	No.	5年間の計画		事業費：千円	取り組み内容	進捗状況		委員会評価(案)	
居住の場の 確保支援	グループ ホーム整 備の支援	住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、事業者に対してグループホーム設置費用などの国県補助等助成制度を活用できるよう支援していきます。	介護福祉課	1－1－2	26年度	国県へ補助金配分を要望、事業所へ補助制度の周知、補助金の申請等の手続きに関する事務支援等	-	6月に市内事業所に対して、施設整備に伴う補助制度の周知を行った。その結果、設置希望事業所があったため、事業内容の聞き取りを行うとともに、補助制度の説明、建築相談への同行のほか、用地取得に伴う税控除に関する助言など側面的支援などを行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					27年度	継続	-	昨年度同様、市内事業所に対して、施設整備に伴う補助制度の周知を行った。その結果、設置希望事業所があったため、事業内容を聞き取り、県に計画書を提出するなど側面的支援を行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					28年度	継続	-	昨年度同様、市内事業所に対して、施設整備に伴う補助制度の周知を行った。その結果、設置希望事業所があったため、事業内容を聞き取り、県に計画書を提出するなど側面的支援を行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					29年度	継続	-	昨年度、補助申請していた1事業所が施設整備補助対象となり、新たにグループホームが1施設整備された。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					30年度	継続	-	市内事業所に対して、施設整備に伴う補助制度の周知を行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					集いの場・居場所づくり	☆親同士の交流の場の提供	発達が気になる子どもやサービスを利用していない障害のある子どもとその家族などに親同士の交流の場を提供していくことで、気軽に集うことができる機会を設けていきます。	こども課	1－1－3	26年度	親子通園事業を事業実施にむけ調整、予算要求	-
					27年度	親子通園事業開始	6,744	親子通園事業を開始し、発達が気になる子どもとその保護者が一定期間継続して通い、発達に関する支援を受けるとともに臨床心理士の助言を受けることができる機会を提供した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					28年度	継続	6,744	親子通園事業を開始し、発達が気になる子どもとその保護者が一定期間継続して通い、発達に関する支援を受けるとともに臨床心理士の助言を受けることができる機会を提供した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					29年度	継続	6,744	親子通園事業を継続し、発達が気になる子どもとその保護者が一定期間継続して通い、発達に関する支援を受けるとともに臨床心理士の助言を受けることができる機会を提供した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					30年度	継続	6,744	親子通園事業を継続し、発達が気になる子どもとその保護者が一定期間継続して通い、発達に関する支援を受けるとともに臨床心理士の助言を受けることができる機会を提供した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

1. 地域で安心して暮らせるまちづくり

1-2 相談支援体制などの充実

単位施策	事業名	事業概要	備 考	No.	5年間の計画	事業費:千円	取り組み内容	進捗状況		委員会評価(案)
相談支援体制の充実	就労や生活支援の専門員・総合支援コーディネーターの配置検討	一般就労している人や定期的な見守りが必要な人などに巡回して就労や生活の支援を行う専門員又は学校などに赴き、サービスなどの情報提供や助言を行いながら相談支援につなげる総合支援コーディネーターの配置について検討していきます。	地域福祉課(福祉相談係)(地域支援係)	1-2-1	26年度	事業検討	-	着手	b	B 内容や進め方が概ね適切であるが、一部修正が必要である
					27年度	一部事業実施	7,117	着手	c	B 内容や進め方が概ね適切であるが、一部修正が必要である
					28年度	一部事業実施	7,117	着手	c	B 内容や進め方が概ね適切であるが、一部修正が必要である
					29年度	事業実施(一部事業見直し)	9,255	着手	b	A 内容や進め方が適切である
					30年度	事業実施	10,703	実施	a	A 内容や進め方が適切である
障害者自立支援協議会の機能強化	☆推進体制の見直し	障害者福祉の推進体制を、法令に基づいて見直しを図ることで、効率的かつ効果的に推進する体制にしていきます。	介護福祉課地域福祉課(福祉政策係)(地域支援係)	1-2-2	26年度	障害者自立支援協議会の開催 障害者基本計画等策定・評価委員会を廃止し、法令に基づく障害者政策委員会(障害者基本法)、障害者自立支援協議会(障害者総合支援法)の推進体制に移行	935	実施	s	S 完了・内容や進め方が十分である
					27年度	実施済み	872	実施	s	S 完了・内容や進め方が十分である
					28年度	実施済み	872	実施	s	S 完了・内容や進め方が十分である
					29年度	実施済み	420	実施	s	S 完了・内容や進め方が十分である
					30年度	実施済み	994	実施	s	S 完了・内容や進め方が十分である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

1. 地域で安心して暮らせるまちづくり

1-2 相談支援体制などの充実

単位施策	事業名	事業概要	備 考	No.	5年間の計画	事業費:千円	取り組み内容	進捗状況	委員会評価(案)
権利擁護の推進	★虐待防止ネットワークの設置	地域の関係機関が連携し、障害者虐待に適切に対応できる環境づくりのため、高齢者虐待と連携した虐待防止ネットワーク会議を設置していきます。	地域福祉課(福祉相談係)	1-2-3	26年度	142	高齢者虐待防止ネットワーク会議に障害者虐待防止ネットワーク会議の機能も持つ組織を設置し、虐待防止等に関する会議を開催した。	実施 s	S 完了・内容や進め方が十分である
					27年度	142	継続して会議を開催した。	実施 s	S 完了・内容や進め方が十分である
					28年度	184	継続して会議を開催した。	実施 s	S 完了・内容や進め方が十分である
					29年度	184	継続して会議を開催した。	実施 s	S 完了・内容や進め方が十分である
					30年度	184	継続して会議を開催した。	実施 s	S 完了・内容や進め方が十分である
情報提供の充実	障害福祉に関するホームページなどの検討	障害福祉に関する計画などをはじめ、必要な時に必要な情報を探すことができるようなホームページの作成など、障害福祉に関する情報などを集約し、情報を提供するための支援方法について検討していきます。	地域福祉課(地域支援係)	1-2-4	26年度	-	平成28年度実施に向けて、企画部局と協議を行ったが、具体的な検討には至らなかった。	着手 c	C 課題が多く、内容や進め方に抜本的な見直しが必要である
					27年度	-	平成28年度実施に向けて、予算計上など準備を行った。	着手 b	A 内容や進め方が適切である
					28年度	150	集約した情報を提供するための、障害者福祉センターのホームページを改修し、掲載内容について検討した。	実施 a	A 内容や進め方が適切である
					29年度	50	障害者福祉センターのホームページの継続的な更新を行った。	実施 a	A 内容や進め方が適切である
					30年度	-	障害者福祉センターのホームページの継続的な更新を行った。	実施 a	A 内容や進め方が適切である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

1. 地域で安心して暮らせるまちづくり

1-3 障害のある子どもへの支援の充実

単位施策	事業名	事業概要	備 考	No.	5年間の計画		事業費：千円	取り組み内容	進捗状況		委員会評価(案)	
障害の早期 発見・早期対 応の推進	専門職員 の拡充	地域の中核機関で ある子ども発達支援 センター(児童発達 支援センター)に、 地域の事業所など に対する支援方法 の技術的指導などを 行う専門職員を配置 していきます。	こども課	1-3-1	26年度	専門職員の配置について検 討	3人	すくすく園(子ども発達支援センター)の体制充実のため、相 談支援員の新聞の折込広告やハローワークへの情報掲載な ど、募集を行い、増員を図った。	着手	b	B	内容や進め方が 概ね適切である が、一部修正が必要 である
					27年度	継続	4人	相談員数が現状の予定に達したため、相談支援で実績を積 む等して、相談員の資質向上を図った。なお、増員は実施し たが、今後もさらなる資質向上が必要。	実施	a	B	内容や進め方が 概ね適切である が、一部修正が必要 である
					28年度	継続	4人	相談員数が現状の予定に達したため、相談支援で実績を積 む等して、相談員の資質向上を図った。今後もさらなる資質向 上が必要。	実施	a	B	内容や進め方が 概ね適切である が、一部修正が必要 である
					29年度	継続	4人	相談員数が現状の予定に達したため、相談支援で実績を積 む等して、相談員の資質向上を図った。また、指定管理料に おいて、専門職員の配置と処遇改善のための予算措置を行っ た。	実施	a	A	内容や進め方が 適切である
					30年度	継続	3人	専門職員の処遇改善を実施し体制充実を図ったが、相談員 数が現状の予定数に満たないため、ハローワークへの情報掲 載などにより相談員の募集を行い、増員をはかった。	実施	a	A	内容や進め方が 適切である
乳幼児期から 就学前にお ける支援	☆専門員 の助言な どを受ける 場の提供	発達が気になる子ど もとその家族などが 気軽に交流し、専門 員の助言などを受け ることができる機会 の提供を行っていき ます。	こども課	1-3-2	26年度	親子通園事業を事業実施に むけ調整、予算要求	-	※再掲(No.1-1-3) 平成27年度実施に向け、定員24名、開催日週2日実施、場所 は保健センターとするなど、検討を行うとともに、平成27年度の 予算計上など、具体的な実施に向けた準備を行った。	着手	b	A	内容や進め方が 適切である
					27年度	親子通園事業開始	6,744	※再掲(No.1-1-3) 親子通園事業を開始し、発達が気になる子どもとその保護者 が一定期間継続して通い、発達に関する支援を受けるとともに 臨床心理士の助言を受けることができる機会を提供した。	実施	a	A	内容や進め方が 適切である
					28年度	継続	6,744	※再掲(No.1-1-3) 親子通園事業を開始し、発達が気になる子どもとその保護者 が一定期間継続して通い、発達に関する支援を受けるとともに 臨床心理士の助言を受けることができる機会を提供した。	実施	a	A	内容や進め方が 適切である
					29年度	継続	6,744	※再掲(No.1-1-3) 親子通園事業を継続し、発達が気になる子どもとその保護者 が一定期間継続して通い、発達に関する支援を受けるとともに 臨床心理士の助言を受けることができる機会を提供した。	実施	a	A	内容や進め方が 適切である
					30年度	継続	6,744	※再掲(No.1-1-3) 親子通園事業を継続し、発達が気になる子どもとその保護者 が一定期間継続して通い、発達に関する支援を受けるとともに 臨床心理士の助言を受けることができる機会を提供した。	実施	a	A	内容や進め方が 適切である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

1. 地域で安心して暮らせるまちづくり

1-3 障害のある子どもへの支援の充実

単位施策	事業名	事業概要	備 考	No.	5年間の計画		事業費：千円	取り組み内容	進捗状況		委員会評価(案)	
就学後から青年期に向けた支援	就労を想定した取り組みなどの支援検討	放課後等デイサービス事業所における就労を想定した取り組みや職場体験の取り組みなどに対する支援を検討していきます。	こども課	1－3－3	26年度		-	自立支援協議会就労部会において、障害のある子どもで中学生の保護者を対象に、福祉サービスや地域の雇用環境に関する勉強会や事業所の見学、座談会を開催して、早い段階から就労に対する意識を高めるよう努めた。	着手	c	C	課題が多く、内容や進め方に抜本的な見直しが必要である
					27年度	自立支援協議会の部会において検討予定	200	自立支援協議会就労部会において、障害のある子どもで中学生及び特別支援学校高等部の保護者を対象に、福祉サービスや地域の雇用環境に関する勉強会を開催した。また、障害のある中学生対象の事業所見学ツアーについて、検討した。	着手	c	B	内容や進め方が概ね適切であるが、一部修正が必要である
					28年度	継続	200	自立支援協議会就労部会において、障害のある子どもで中学生及び特別支援学校高等部の保護者を対象に、福祉サービスや地域の雇用環境に関する勉強会を開催した。また、障害のある小中学生対象の事業所見学ツアーを、日進市手をつなぐ育成会主催で実施した。	実施	a	B	内容や進め方が概ね適切であるが、一部修正が必要である
					29年度	継続	200	自立支援協議会就労部会において、障害のあるお子さんの保護者を対象に、福祉サービスや地域の雇用環境に関する勉強会を開催した。また、障害のある高校生の保護者対象の事業所見学ツアーを就労部会主催で、小中学生の保護者対象の事業所見学ツアーを子ども部会主催で実施した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					30年度	継続	200	自立支援協議会就労部会において、障害のある(あると思われる)お子さんの保護者を対象に、将来をイメージするための説明会を開催した。また、障害のある(あると思われる)高校生等の保護者対象の事業所見学ツアーを就労部会主催で、小中学生の保護者対象の事業所見学ツアーを子ども部会主催で実施した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
家族支援の充実	☆親同士の交流の場の提供(再掲)	発達が気になる子どもやサービスを利用していない障害のある子どもとその家族などに親同士の交流の場を提供していくことで、気軽に集うことができる機会を設けていきます。	こども課	1－3－4	26年度	親子通園事業を事業実施にむけ調整、予算要求	-	※再掲(No.1-1-3) 平成27年度実施に向け、定員24名、開催日週2日実施、場所は保健センターとするなど、検討を行うとともに、平成27年度の予算計上など、具体的な実施に向けた準備を行った。	着手	b	A	内容や進め方が適切である
					27年度	親子通園事業開始	6,744	※再掲(No.1-1-3) 親子通園事業を開始し、発達が気になる子どもとその保護者が一定期間継続して通い、発達に関する支援を受けるとともに臨床心理士の助言を受けることができる機会を提供した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					28年度	継続	6,744	※再掲(No.1-1-3) 親子通園事業を開始し、発達が気になる子どもとその保護者が一定期間継続して通い、発達に関する支援を受けるとともに臨床心理士の助言を受けることができる機会を提供した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					29年度	継続	6,744	※再掲(No.1-1-3) 親子通園事業を継続し、発達が気になる子どもとその保護者が一定期間継続して通い、発達に関する支援を受けるとともに臨床心理士の助言を受けることができる機会を提供した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					30年度	継続	6,744	※再掲(No.1-1-3) 親子通園事業を継続し、発達が気になる子どもとその保護者が一定期間継続して通い、発達に関する支援を受けるとともに臨床心理士の助言を受けることができる機会を提供した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

1. 地域で安心して暮らせるまちづくり

1-4 障害の予防と早期発見、受診支援

単位施策	事業名	事業概要	備考	No.	5年間の計画		事業費：千円	取り組み内容	進捗状況		委員会評価(案)	
障害の原因となる疾病の予防	健康診査などの受診促進	生活習慣病の予防及び疾病の早期発見・早期治療を図るため、各医療保険者による健康診査やがん検診の受診促進を図っていきます。	健康課	1ー4ー1	26年度	特定健診、がん検診の同時実施 がん検診受診促進キャンペーンの実施	169,696	肺がん検診のみで行っていた同時実施を、肺・大腸・前立腺・子宮がん検診に拡大した。 公用車への受診勧奨マグネットの貼付、広報誌にコラムを掲載するほか、がん制圧月間中に、公共施設のトイレに大腸がんについてのポスターとトイレットペーパーを設置、集団乳がん検診受診者にセルフチェックの指導と浴室にて使用できるパンフレットの配布など、さまざまな方法で促進を行っている。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					27年度	継続	159,115	節目年齢者に対して、節目年齢半額券を発行、申込方法に電子申請システムの導入し、受診しやすい環境づくりを行った。広報誌にコラムを掲載、がん制圧月間中に、公共施設のトイレに大腸がんについてのポスターとトイレットペーパー、歩道橋に横断幕を設置、集団乳がん検診受診者にセルフチェックの指導と浴室にて使用できるパンフレットの配布など、さまざまな方法で促進を行っている。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					28年度	継続	155,414	節目年齢者に対して、節目年齢半額券を発行、子宮がん検診については20・24・30・34歳にも拡大して実施。電子申請システムの申込みがしやすいよう、案内等にQRコード記載し、受診しやすい環境づくりを行った。広報誌にコラムを掲載、がん制圧月間中に、公共施設へポスター・トイレットペーパーを歩道橋に横断幕を設置、乳がんのセルフチェックパンフレットを集団がん検診や乳幼児健診保護者へ配布など、さまざまな方法で促進を行っている。 協定を結んでいる協会けんぽと協働で被扶養者健診の案内にがん検診チラシを同封。また、事業所へがんのPRカレンダーを配付した。第一生命とも協定締結した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					29年度	継続	158,843	40歳以上(子宮がんは20歳以上)の節目年齢者に対して、節目年齢半額券を発行。電子申請システムの申込みがしやすいよう、案内等にQRコード記載し、受診しやすい環境づくりを行った。広報誌にコラムを掲載、がん制圧月間中に、公共施設へポスター・トイレットペーパーを歩道橋に横断幕を設置、乳がんのセルフチェックパンフレットを集団がん検診や乳幼児健診保護者へ配布、乳がんモデルを窓口を設置するなど、さまざまな方法で促進を行っている。 協定を結んでいる協会けんぽと協働で被扶養者健診の案内にがん検診チラシを同封。また、第一生命と協働でがん検診チラシを配布した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					30年度	継続	163,175	40歳以上のすべての人及び節目年齢者に対して、がん検診等受診券を発行。電子申請システムの申込みがしやすいよう、案内等にQRコード記載し、受診しやすい環境づくりを行った。広報誌にコラムを掲載、がん制圧月間中に、公共施設へポスター・トイレットペーパーを歩道橋に横断幕を設置、乳がんのセルフチェックパンフレットを集団がん検診や乳幼児健診保護者へ配布、乳がんモデルを窓口設置するなど、さまざまな方法で促進を行っている。 協定を結んでいる協会けんぽや第一生命と協働でがん検診チラシを配布した。またスギ薬局のチラシにがん検診受診促進のPRをした。	実施	s	A	内容や進め方が適切である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

1. 地域で安心して暮らせるまちづくり

1-4 障害の予防と早期発見、受診支援

単位施策	事業名	事業概要	備考	No.	5年間の計画	事業費:千円	取り組み内容	進捗状況	委員会評価(案)
障害に対する適切な受診支援	合理的配慮に対する意識啓発	医療機関を受診する場合に必要な支援や配慮などがされるよう、医療機関などに対して合理的配慮に対する意識啓発を行います。	地域福祉課(地域支援係)健康課	1-4-2	26年度	-	歯科保健衛生会議にて『障害児(者)の歯科健診マニュアル』を配布し、適切な対応を依頼、及び障害者認定協力医の増加について依頼できるように調整した。	実施	a A 内容や進め方が適切である
					27年度	216	障害者差別解消法制度及び市の取り組み啓発用リーフレットを作成した。歯科保健衛生会議にて、地域福祉課が『障害児(者)の歯科健診マニュアル』を配布し、適切な対応を依頼した。	実施	a A 内容や進め方が適切である
					28年度	216	障害者差別解消法制度及び市の取り組み啓発用リーフレット(わかりやすい版)を作成し、差別解消法研修会にて配布を行った。また、コミュニケーションの問題の改善を図る目的で「コミュニケーション支援ボード」を作成した。	実施	a A 内容や進め方が適切である
					29年度	-	障害者差別解消法制度及び市の取り組み啓発用リーフレット(わかりやすい版)を、差別解消法研修会にて配布を行った。障害者自立支援協議会子ども部会にて「受診サポートカード」を作成し、医師会・歯科医師会と協議を行う中で、受診時に活用できる情報提供の方法を検討した。また、継続して障害者差別解消法研修会にて合理的配慮に対する意識啓発を行った。	実施	a A 内容や進め方が適切である
					30年度	36	障害者自立支援協議会子ども部会にて「受診サポートカード」を作成、医師会・歯科医師会へ活用を依頼し、該当者へ周知した。また、継続して障害者差別解消法研修会にて合理的配慮に対する意識啓発を行った。	実施	a A 内容や進め方が適切である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

2. 共に学び、働き、活躍できるまちづくり

2-1 雇用・就労の促進

		ACTION									
単位施策	事業名	事業概要	備 考	No.	5年間の計画 PLAN		事業費: 千円	取り組み内容 DO	進捗状況		委員会評価(案) CHECK
総合的な就労支援体制の確立	生活訓練・生活サポート事業の検討	特に日常生活に不安定な面がある障害のある人に対して、一般就労を継続していくために必要な日常生活上の訓練・指導や家事援助などを行う生活訓練・生活サポート事業の実施について検討していきます。	地域福祉課 (地域支援係)	2-1-1	26年度		-	未実施。就労部会での検討が必要。	未着手	d	D 実施に向け検討する必要がある
					27年度	事業検討	-	未実施。生活困窮者自立相談支援事業との整理や、就労部会での検討が必要。	未着手	d	D 実施に向け検討する必要がある
					28年度	事業検討	-	総合支援コーディネーターの配置について、検討を行った。	着手	c	C 課題が多く、内容や進め方に抜本的な見直しが必要である
					29年度	事業実施にむけ情報収集	-	総合支援コーディネーターの配置について検討し、来年度10月から『就労・生活支援コーディネーター』の名称で、実施に向けた予算化を行った。	着手	b	A 内容や進め方が適切である
					30年度	事業実施	1,044	10月から就労・生活支援コーディネーターを配置し、就労に関する総合的な支援体制を整備した。	実施	a	A 内容や進め方が適切である
雇用・就労機会の拡大促進	☆就労支援事業所の開設支援	市内における就労支援を行う事業所の開設を支援していきます。	地域福祉課 (地域支援係)	2-1-2	26年度	日進市障害福祉サービス等新設事業所開設費補助金を創設し、支援を実施	3,000	障害福祉サービス等新設事業所開設費補助金を創設し、公募を行った結果、就労移行支援事業所(赤池町)及び就労継続支援A型事業所(浅田町)を各1か所ずつ誘致した。	実施	s	S 完了・内容や進め方が十分である
					27年度	実施済み	-	実施済み	実施	s	S 完了・内容や進め方が十分である
					28年度	実施済み	-	実施済み	実施	s	S 完了・内容や進め方が十分である
					29年度	実施済み	-	実施済み	実施	s	S 完了・内容や進め方が十分である
					30年度	実施済み	-	実施済み	実施	s	S 完了・内容や進め方が十分である
福祉的な就労機会の充実	☆優先発注の仕組みづくり	福祉的就労などの支援を進めるため、市における障害者就労施設などの物品等を優先的に発注する仕組みづくりを進めていきます。	地域福祉課 (地域支援係)	2-1-3	26年度	優先調達法の周知、啓発。毎年度基本方針を定め、実績のとりまとめを実施	-	庁内啓発による障害者優先調達推進法の対象事業所との庁内における契約額実績は昨年度調達金額を上回った。(25年度600,000円→26年度980,325円)	実施	a	A 内容や進め方が適切である
					27年度	継続	-	庁内啓発による障害者優先調達推進法の対象事業所との庁内における契約額実績は順調に増加。(平成26年度980,352円→27年度1,320,920円)	実施	a	A 内容や進め方が適切である
					28年度	継続	-	庁内啓発による障害者優先調達推進法の対象事業所との庁内における契約額実績は順調に増加。(平成27年度1,320,920円→28年度1,800,906円)	実施	a	A 内容や進め方が適切である
					29年度	継続	-	庁内啓発による障害者優先調達推進法の対象事業所との庁内における契約額実績は昨年度並みとなった。(平成28年度1,800,906円→29年度1,828,002円)	実施	a	A 内容や進め方が適切である
					30年度	継続	-	庁内啓発による障害者優先調達推進法の対象事業所との庁内における契約額実績は増加となった。(平成29年度1,828,002円→30年度2,042,100円)	実施	a	A 内容や進め方が適切である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

2. 共に学び、働き、活躍できるまちづくり

2-2 スポーツ・文化活動の支援

単位施策	事業名	事業概要	備 考	No.	5年間の計画		事業費: 千円	取り組み内容	進捗状況		委員会評価(案)	
障害者スポーツ・レクリエーションの振興	合理的配慮に対する意識啓発	障害のある人が気軽に一般のスポーツ・レクリエーション教室などに参加できるように、団体などにパンフレットを配布するなど、合理的配慮に対する意識啓発を行っていきます。	地域福祉課 (地域支援係) 生涯学習課	2ー2ー1	26年度		-	レクリエーション協会パンフレットに車椅子を使用している人のイメージ写真を掲載しているものの、ほぼ未実施の状態である。	未着手	d	D	実施に向け検討する必要がある
					27年度	差別解消法にかかる啓発用パンフレット作成	516	障害者差別解消法制度及び市の取り組み啓発用リーフレットを作成した。また、社会参加促進補助金の対象事業を障害のある子どものみから障害のある人に対するもので拡大した。	着手	b	B	内容や進め方が概ね適切であるが、一部修正が必要である
					28年度	パンフレット等への障害者に対する配慮の掲載(知的障害者向けの簡易版リーフレットの作成。関係機関にリーフレットの配布による周知)	516	障害者差別解消法制度及び市の取り組み啓発用リーフレット(わかりやすい版)を作成し、差別解消法研修会にて配布を行った。また、コミュニケーションの問題の改善を図る目的で「コミュニケーション支援ボード」を作成した。生涯学習事業のパンフレット等へ障害者に対する配慮について掲載した。 障害者レクリエーション文化活動等対策事業を実施した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					29年度	関係機関にリーフレットの配布による周知	-	障害者差別解消法制度及び市の取り組み啓発用リーフレット(わかりやすい版)を、差別解消法研修会にて配布し、指定管理者等に向け合理的配慮に対する取り組みを伝えた。当事者の参加促進に向けた障害者レクリエーション文化活動等対策事業を実施した。 生涯学習事業のパンフレット等へ障害者に対する配慮について掲載した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					30年度	継続	-	障害者差別解消法制度及び市の取り組み啓発用リーフレット(わかりやすい版)を差別解消法研修会にて配布した。当事者の参加促進に向けた障害者レクリエーション文化活動等対策事業を実施した。 生涯学習事業のパンフレット等へ障害者に対する配慮について掲載した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

2. 共に学び、働き、活躍できるまちづくり

2-2 スポーツ・文化活動の支援

単位施策	事業名	事業概要	備 考	No.	5年間の計画		事業費: 千円	取り組み内容	進捗状況		委員会評価(案)
文化活動の推進	合理的配慮に対する意識啓発	障害のある人が気軽に一般の文化活動教室などに参加できるように、団体などにパンフレットを配布するなど、合理的配慮に対する意識啓発を行っています。	地域福祉課 (地域支援係) 生涯学習課	2ー2ー2	26年度		-	未着手	未着手	d	D 実施に向け検討する必要がある
					27年度	差別解消法にかかる啓発用パンフレット作成	516	障害者差別解消法制度及び市の取り組み啓発用リーフレットを作成した。また、社会参加促進補助金の対象事業を障害のある子どものみから障害のある人に対するものまで拡大した。	着手	b	B 内容や進め方が概ね適切であるが、一部修正が必要である
					28年度	パンフレット等への障害者に対する配慮の掲載(知的障害者向けの簡易版リーフレットの作成。関係機関にリーフレットの配布による周知)	516	障害者差別解消法制度及び市の取り組み啓発用リーフレット(わかりやすい版)を作成し、差別解消法研修会にて配布を行った。また、コミュニケーションの問題の改善を図る目的で「コミュニケーション支援ボード」を作成した。生涯学習事業のパンフレット等へ障害者に対する配慮について掲載した。	実施	a	A 内容や進め方が適切である
					29年度	関係機関にリーフレットの配布による周知	-	障害者差別解消法制度及び市の取り組み啓発用リーフレット(わかりやすい版)を、差別解消法研修会にて配布し、指定管理者等に向け合理的配慮に対する取り組みを伝えた。当事者の参加促進に向けた障害者レクリエーション文化活動等対策事業を実施した。生涯学習事業のパンフレット等へ障害者に対する配慮について掲載した。	実施	a	A 内容や進め方が適切である
					30年度	継続	-	障害者差別解消法制度及び市の取り組み啓発用リーフレット(わかりやすい版)を差別解消法研修会にて配布した。当事者の参加促進に向けた障害者レクリエーション文化活動等対策事業を実施した。生涯学習事業のパンフレット等へ障害者に対する配慮について掲載した。	実施	a	A 内容や進め方が適切である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

2. 共に学び、働き、活躍できるまちづくり

2-2 スポーツ・文化活動の支援

単位施策	事業名	事業概要	備 考	No.	5年間の計画		事業費: 千円	取り組み内容	進捗状況			委員会評価(案)
スポーツ・文化施設などのバリアフリー化	公共施設のバリアフリー化	既存の公共施設の改修時などにおいて、可能なバリアフリー化を進めていきます。	都市計画課 財政課 教育総務課 生涯学習課 など 施設所管課	2-2-3	26年度	福祉部と建設経済部における勉強会の実施 障害者支援団体との連携によってバリアフリーを推進する。 必要に応じて、可能な範囲での配慮をする	-	福祉部と建設経済部と月1回の勉強会を開催し、設計時や工事前後に障害者支援団との協議を行うよう調整を行った。以下の工事にてバリアフリーの推進に努めた。 手すり設置(藤枝奥廻間北ちびっこ広場)、水飲み(ユニバーサルデザイン)設置(北部浄化センター北広場)、手すり及び一部広めのブース設置(南小学校、日進西中学校トイレ改修工事) また、旧市川家住宅改修の際は、団体の意見を取り入れたユニバーサル対応トイレを設置。駐車場から主屋入口まではスロープ等を設置し、動線を確保した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					27年度	引き続き、必要に応じて可能な範囲での配慮をする。	-	赤池駅前線の歩道整備において、横断歩道周辺の歩道に誘導ブロックを設置した。 また、赤池特1号線の横断歩道周辺の歩道に誘導ブロックを設置した。 赤池小学校増築時には、トイレに手すり及び一部広めのブース設置し、北小学校修繕工事を行う際には、階段の手すりを持ちやすいものに変更した。 また、市民会館指定管理者と協議し、トイレの手すり設置工事などを行い、バリアフリーの推進に努めた。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					28年度	継続		市役所エレベータ改修工事(①)及び公共交通案内所整備工事(②)において、設計・施工段階において障害者支援団体と連携を行った。 ①については、点字ブロックやボタン等の設置位置、扉の開き時間等、②については、設置位置や動線の確認を行い、バリアフリーの推進に努めた。 図書館において、手すりや多目的トイレ等といったバリアフリー設備だけでなく、全館にわたり不具合のある箇所の早期発見に努めるべく、随時点検を行った。 ふれあい工房の出入口を引き戸から開き戸へ変更し車椅子でも出入りできる幅を確保した。 野方三ツ池公園の階段に設置されていた手すりが経年劣化していたので、新たな手すりにつけかえた。 赤池駅前線の歩道整備において、横断歩道周辺の歩道に誘導ブロックを設置した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					29年度	継続(総合運動公園バリアフリートイレ建替委託・工事。東小学校多目的トイレ設置工事)	76,000	総合運動公園バリアフリー建替工事において市身体障害者福祉協会より意見を伺い、多目的トイレ内設備の充実に反映させた。 また、キャンプ場以外の園内トイレを全てバリアフリー対応にした。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					30年度	継続	44,959	くちなしちびっこ広場において、階段に手すりを設置した。 足の不自由な利用者の利便性に配慮して、市民会館大ホール控室1を和室から洋室に改修する工事を行った。生涯学習プラザ1階男子トイレを洋式化した。 おりど病院前バス停始め2箇所設置工事において、障害者福祉支援団体と連携を行なった。現地での位置の確認や、ダンボールを用いたすサイズの確認を行い、同時に乗降通路部分での路面凹凸についても意見が出され、あわせて改修をおこなった。 西小学校体育館トイレ改修工事において市身体障害者福祉団体より意見を伺い、多目的トイレ内設備の充実に反映させた。	実施	a	A	内容や進め方が適切である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

2. 共に学び、働き、活躍できるまちづくり

2-3 当事者団体などの活動支援

単位施策	事業名	事業概要	備 考	No.	5年間の計画	事業費: 千円	取り組み内容	進捗状況	委員会評価(案)
当事者団体などによるレクリエーションなどの活動支援	☆当事者団体などの活動支援	当事者団体などが主体的に実施するレクリエーション活動や文化活動、障害に関する理解促進を図る講演会の開催などを支援していきます。	地域福祉課 (地域支援係)	2-3-1	26年度	日進市障害児夏休み等対策事業費補助金の実施を継続	300 障害のある子どもの夏休みの居場所づくりなどの活動等、計3団体に補助を行った。(3団体、4事業) 参加者合計延べ891名 ①愛知淑徳大学 ヘルパーサークルあじゅあす 内容:あじゅあすの夏祭り・クリスマス会 ②NPO法人なかまの家 内容:夜祭り ③NPO法人なかまの家 内容:ひかりの人々展 ④愛知淑徳大学 キラスマ 内容:みんなでつくるクリスマス会	実施	a A 内容や進め方が適切である
					27年度	障害者、障害児の社会参加支援に関する事業として、レクリエーション文化活動等補助事業として実施	300 昨年度まで、障害のある子ども対象であったが、障害のある人まで拡充。障害者レクリエーション文化活動等対策事業として、計4団体に補助を行った。 参加者合計延べ132名 ①一般社団法人アーレの樹(タイココミュニケーション) ②ちゃっちる(愛知淑徳大学学生ボラ)(夏まつり、クリスマスで工作など) ③NPO法人アスペディア(ワークショップ「リズムで描こう」) ④椿ソーシャル・アイデンティティ・サポート(プロカメラマンによるステキな写真の撮り方・見せ方講座)	実施	a A 内容や進め方が適切である
					28年度	継続	300 障害者レクリエーション文化活動等対策事業として、計7団体に補助を行った。 参加者合計延べ198名 ①ちゃっちる(愛知淑徳大学学生ボラ)(秋冬お楽しみ会、節分お楽しみ会など) ②2匹の猫(スイーツ作り) ③NPO法人arte colore(切り絵体験) ④ファミリーボードゲーム日進(ボードゲーム交流会) ⑤ドリームマップ日進(ドリームマップワークショップ) ⑥ハミングバード(英会話講座) ⑦レインボー日進(視覚・聴覚障害者のための上映会)	実施	a A 内容や進め方が適切である
					29年度	継続	300 障害者レクリエーション文化活動等対策事業として、計4団体に補助を行った。 参加者合計延べ214名 ①ちゃっちる(愛知淑徳大学学生ボラ)(お楽しみ会など) ②2匹の猫(スイーツ作り) ③NPO法人健やかネットワーク(絵手紙、歌、体操) ④スペシャルニーズの子ども達と共に育む会スマイル(音楽療法)	実施	a A 内容や進め方が適切である
					30年度	継続	300 障害者レクリエーション文化活動等対策事業として、計6団体に補助を行った。 参加者合計延べ1,557名 ①ちゃっちる(愛知淑徳大学学生ボラ)(夏祭りなど) ②2匹の猫(スイーツデコレーション体験) ③NPOなかまの家(ダンス・楽器演奏) ④スペシャルニーズの子ども達と共に育む会スマイル(キッズヨガ) ⑤紫陽花～しょうか～(よさこい) ⑥日進市障害者団体連絡会(クリスマス会)	実施	a A 内容や進め方が適切である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

2. 共に学び、働き、活躍できるまちづくり

2-3 当事者団体などの活動支援

単位施策	事業名	事業概要	備考	備考	5年間の計画		事業費: 千円	取り組み内容	進捗状況		委員会評価(案)	
ピアカウンセリングの促進	親の会などの育成	障害のある子どもがいる保護者同士の取り組みを支援することで、障害に応じた親の会などの団体育成を進めていきます。	こども課	2-3-2	26年度	保護者向け交流会の開催、講演会・講習会を通じた保護者支援等	100	保護者談話会を開催(9回)。 また、発達支援セミナーを通じた保護者支援も実施した。 *講演会(2回 延べ192名)、ペアレントプログラム講習会(6回連続講座 延べ154名)	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					27年度	継続	100	保護者談話会を開催(11回)。 *講演会(6回延べ127名)、ペアレントトレーニング研修(18回開催 延べ76名)	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					28年度	継続	100	保護者談話会を開催(11回)。 *講演会(4回延べ111名)、ペアレントトレーニング研修(24回開催 延べ264名)	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					29年度	継続	100	保護者談話会を開催(11回延べ307名)。 *講演会(5回延べ105名)、ペアレントトレーニング研修(24回開催 延べ270名)	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					30年度	継続	100	保護者談話会を開催(11回延べ241名)。 *講演会(5回延べ128名)、ペアレントトレーニング研修(24回開催 延べ162名)	実施	a	A	内容や進め方が適切である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

2. 共に学び、働き、活躍できるまちづくり

2-3 当事者団体などの活動支援

単位施策	事業名	事業概要	備 考	No.	5年間の計画	事業費: 千円	取り組み内容	進捗状況	委員会評価(案)
当事者団体設立 や継続的な運営 に対する支援	人材育成支援員 の増強	当事者団体やボランティア団体などの自発的活動の支援やボランティアのコーディネート機能の強化、当事者団体などの活動のバックアップ支援などの取り組みを図っていくため、人材育成事業の支援員(ボランティアコーディネーターなど)を増加し、支援を強化していきます。	地域福祉課 (地域支援係)	2-3-3	26年度	962	平成25年度から、精神保健ボランティア関連講座の受講者によるボランティアグループ(すばる)が発足したため、グループ支援のためのフォローアップ研修などを開催した。 * 支援者向け研修(3回) 公開講座 44名、実践講座 2回 25名 * 精神保健福祉ボランティア養成講座支援事業 市内でフリースペースを運営する団体「すばる」に対して、専門員から定例会での助言や研修を実施。・定例会 月1回 ・ステップアップ講座 1回 ・傾聴ボランティア 全5回	実施	a A 内容や進め方が適切である
					27年度	953	障害者相談支援センター等において、人材育成事業を実施した。 ①精神障害者居場所支援事業 67名 ②傾聴ボランティア養成講座 71名 ③精神保健福祉ステップアップ講座 11名 ④障害児支援スタッフ養成講座 61名 ⑤大学地域社会貢献講座 57名 ⑥点訳・点字ボランティアステップアップ講座 43名 ⑦手話奉仕員養成講座 68名 ⑧要約筆記ボランティア養成講座 3名 (人数はすべて参加者)	実施	a A 内容や進め方が適切である
					28年度	1,004	障害者相談支援センター等において、人材育成事業を実施した。 ①精神障害者居場所支援事業 54名 ②精神保健福祉ボランティア養成講座 8名 ③精神保健福祉ステップアップ講座 10名 ④障害児支援スタッフ養成講座 121名 ⑤大学地域社会貢献講座 23名 ⑥点訳・点字ボランティアステップアップ講座 21名 ⑦手話奉仕員養成講座 63名 ⑧要約筆記ボランティア養成講座 4名(人数はすべて参加者)	実施	a A 内容や進め方が適切である
					29年度	935	障害者相談支援センター等において、人材育成事業を実施した。 ①精神障害者居場所支援事業 参加者63名 ②精神保健福祉ボランティア養成講座 参加者67名 ③精神保健福祉ステップアップ講座 参加者9名 ④障害児支援スタッフ養成講座 参加者64名 ⑤大学地域社会貢献講座 参加者23名 ⑥点訳ボランティア養成講座 参加者107名 ⑦肢体不自由/ババママのためのピアサポート 参加者9名 ⑧手話奉仕員養成講座 参加者5名 ⑨要約筆記ボランティア養成講座 参加者2名 ボランティア講座受講者数 349人	実施	a A 内容や進め方が適切である
					30年度	1,084	障害者相談支援センター等において、人材育成事業を実施した。 ①精神障害者居場所支援事業 参加者54名 ②精神保健福祉ボランティア養成講座 参加者38名 ③精神保健福祉ステップアップ講座 参加者9名 ④大学地域社会貢献講座 参加者47名 ⑤音訳ボランティア養成講座 参加者91名 ⑥肢体不自由/ババママのためのピアサポート 参加者13名 ⑦手話奉仕員養成講座 参加者7名 ⑧要約筆記ボランティア養成講座 参加者3名 ボランティア講座受講者数 262人	実施	a A 内容や進め方が適切である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

2. 共に学び、働き、活躍できるまちづくり

2-4 移動・外出や経済的自立支援

単位施策	事業名	事業概要	備 考	No.	5年間の計画		事業費: 千円	取り組み内容	進捗状況		委員会評価(案)
移動・外出支援 の促進	リフトタクシーの利用促進	重度の身体障害のある人など、より移動に困難がある人の外出機会の拡大を図るため、現在の障害者タクシー料金助成事業などを見直し、リフトタクシーの利用促進などを図っていきます。	介護福祉課	2-4-1	26年度	障害者タクシー料金助成事業の見直しの検討	13,887	障害者タクシー料金助成事業の見直しについては、重度障害のある人の外出機会を促進するため、リフトタクシーの利用をしやすいよう自立支援協議会にも意見を求めつつ見直しの検討を行った。	着手	c	A 内容や進め方が適切である
					27年度	障害者タクシー料金助成事業の見直しの検討	13,000	障害者タクシー料金助成事業の見直しについては、外部評価意見を参考にするとともに、昨年度に引き続き自立支援協議会にも意見を求めながら、継続して検討を行った。また、福祉有償運送にも制度活用ができるよう検討を行った。	着手	c	A 内容や進め方が適切である
					28年度	障害者タクシー料金助成事業の見直し実施	13,000	障害者タクシー料金助成事業の対象事業者に福祉有償運送事業者2団体を追加したほか、昨年度に引き続き同事業の見直しを実施。自立支援協議会にも意見を求めながら、継続して検討を行い、リフト付タクシー料金助成を創設し翌年度から実施することとした。	着手	b	A 内容や進め方が適切である
					29年度	障害者タクシー料金助成事業の実施	8,718	昨年度まで継続していた検討に基づき、リフト付タクシー料金助成を新たに実施した。	実施	s	S 完了・内容や進め方が十分である
					30年度	継続	8,073	前年度の取組みを継続実施	実施	s	S 完了・内容や進め方が十分である
	連携した移動支援などの支援	福祉有償運送を行う事業者を育成し、居宅介護、移動支援事業、移動ボランティア活動などと連携した活動や移送車両などへの支援について検討していきます。	地域福祉課 (地域支援係)	2-4-2	26年度	事業検討	-	福祉有償運送などの拡充のための補助制度の準備として補助要綱案の作成、市内及び近隣自治体事業所への事業実施の周知のほか、国の地方創生交付金を活用しての予算計上を行うなど、平成27年5月の公募に向けた準備に努めた。	着手	b	B 内容や進め方が概ね適切であるが、一部修正が必要である
					27年度	ボランティア輸送等普及支援事業費補助金の創設、実施(27年度のみ)	6,189	福祉有償運送等について、開設支援に係る補助制度を創設。実施団体を公募し、2団体選定した。	実施	a	A 内容や進め方が適切である
					28年度	福祉有償運送拡大実施、事業者育成、ボランティア輸送実施方法検討	78	障害者タクシー料金助成事業の対象事業者に福祉有償運送事業者2団体を追加したほか、昨年度に引き続き同事業の見直しを実施。自立支援協議会にも意見を求めながら、継続して検討を行い、リフト付タクシー料金助成を創設し翌年度から実施することとした。	実施	a	A 内容や進め方が適切である
					29年度	福祉有償運送継続、事業者育成継続、ボランティア輸送実施方法検討	156	福祉有償運送等について、事業者2団体の更新申請届出に対して、継続した実施を求める協議を行った。昨年度検討したリフト付タクシー料金助成を実施し、支援の拡大に努めた。	実施	a	A 内容や進め方が適切である
					30年度	福祉有償運送継続、事業者育成継続	49	まちづくり協会による移動支援も含めた地域での助け合い活動が1箇所立ち上がった。また他1箇所においても同様の活動を検討中であり、地域での支え合い活動の支援に努めた。また、福祉有償運送ドライバー養成講座を翌年度から実施することとした。	実施	a	A 内容や進め方が適切である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

2. 共に学び、働き、活躍できるまちづくり

2-4 移動・外出や経済的自立支援

単位施策	事業名	事業概要	備 考	No.	5年間の計画		事業費: 千円	取り組み内容	進捗状況		委員会評価(案)	
経済的自立の支援	総合的な就労支援体制の確立【関連:2-1(1)】	障害者就労に関する関係機関などが連携し、障害のある人の就労を総合的に支援する体制づくりを進めていきます。	地域福祉課 (地域支援係)	2-4-3	26年度		-	未実施。就労部会での検討が必要。	未着手	d	D	実施に向け検討する必要がある
					27年度	事業検討	-	未実施。生活困窮者自立相談支援事業との整理や、就労部会での検討が必要。	未着手	d	D	実施に向け検討する必要がある
					28年度	事業実施にむけ調整	-	総合支援コーディネーターの配置について、検討を行った。	着手	c	C	課題が多く、内容や進め方に抜本的な見直しが必要である
					29年度	事業実施にむけ情報収集	-	総合支援コーディネーターの配置について検討し、来年度10月から『就労・生活支援コーディネーター』の名称で、実施に向けて予算化を行った。	着手	b	A	内容や進め方が適切である
					30年度	事業実施	1,044	10月から就労・生活支援コーディネーターを配置し、就労に関する総合的な支援体制を整備した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

3. 支え合い、共に生きるまちづくり

3-1 障害に対する理解促進とまちづくりや市政への参加の保障

ACTION											
単位施策	事業名	事業概要	備 考	No.	5年間の計画 PLAN		事業費:千円	取り組み内容 DO	進捗状況		委員会評価(案) CHECK
啓発・広報活動の推進	☆合理的配慮に関するパンフレットなどの作成	障害者自立支援協議会の専門部会などにおいて、「合理的配慮」を理解できるようにするためのパンフレットなどを作成し、市民への啓発を進めていきます。	地域福祉課(地域支援係)	3-1-1	26年度		-	要領及びパンフレット共に27年度内に作成予定。職員研修も27年度内に実施できるよう検討した。	着手	b	B 内容や進め方が概ね適切であるが、一部修正が必要である
					27年度	差別解消法にかかる職員対応要領の作成及び職員研修を実施予定、関係法制度啓発用パンフレット作成	216	障害者差別解消法制度及び市の取り組み啓発用リーフレットを作成した。また、市職員向けの研修でリーフレットを活用した。	実施	a	A 内容や進め方が適切である
					28年度	市職員及び教職員研修の実施と共に事業所等研修を検討、実施	216	障害者差別解消法制度及び市の取り組み啓発用リーフレット(わかりやすい版)を作成し、職員及び市民向け差別解消法研修を実施した。	実施	a	A 内容や進め方が適切である
					29年度	継続	-	障害者差別解消法制度及び市の取り組み啓発用リーフレット(わかりやすい版)を、教職員や市職員及び市民向け差別解消法研修会にて配布を行った。	実施	a	A 内容や進め方が適切である
					30年度	継続	36	障害者差別解消法制度及び市の取り組み啓発用リーフレット(わかりやすい版)を差別解消法研修会にて配布を行った。	実施	a	A 内容や進め方が適切である
差別偏見をなくすための取り組み	障害差別の禁止や合理的配慮に関する市職員対応要領の作成	障害者差別解消法の施行に向けて、国の基本方針に基づき、市職員などが適切に障害差別の禁止や合理的配慮の提供などに対応するための職員対応要領などの作成について検討していきます。	地域福祉課(地域支援係)	3-1-2	26年度	障害者政策委員会条例を改正し、障害を理由とする差別の解消のための取組に関する協議を行うという旨を追記	-	要領及びパンフレット共に27年度内に作成予定。職員研修も27年度内に実施できるよう検討した。	着手	b	B 内容や進め方が概ね適切であるが、一部修正が必要である
					27年度	差別解消法にかかる職員対応要領の作成及び職員研修を実施予定、関係法制度啓発用パンフレット作成	216	障害者差別解消法制度及び市の取り組み啓発用リーフレットを作成した。また、市職員向けの研修を実施した。	実施	a	A 内容や進め方が適切である
					28年度	市職員及び教職員研修の実施と共に事業所等研修を検討、実施	216	障害者差別解消法制度及び市の取り組み啓発用リーフレット(わかりやすい版)を作成し、職員及び市民向け差別解消法研修を実施した。	実施	a	A 内容や進め方が適切である
					29年度	継続	-	障害者差別解消法制度及び市の取り組み啓発用リーフレット(わかりやすい版)を、教職員や市職員及び市民向け差別解消法研修会にて配布を行った。	実施	a	A 内容や進め方が適切である
					30年度	継続	-	障害者差別解消法制度及び市の取り組み啓発用リーフレット(わかりやすい版)を差別解消法研修会にて配布を行った。	実施	a	A 内容や進め方が適切である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

3. 支え合い、共に生きるまちづくり

3-1 障害に対する理解促進とまちづくりや市政への参加の保障

単位施策	事業名	事業概要	備 考	No.	5年間の計画		事業費:千円	取り組み内容	進捗状況			委員会評価(案)
まちづくりや市政への参加の保障	障害のある人の参加保障	日進市市民参加及び市民自治活動条例に基づき、障害福祉に関する協議を行う障害者政策委員会や障害者自立支援協議会などへ障害のある人の参加を保障していきます。	地域福祉課(福祉政策係) 介護福祉課	3-1-3	26年度	障害者政策委員会、障害者自立支援協議会への障害者団体等の参加	-	障害者政策委員会、障害者自立支援協議会の委員として障害者団体等へ委員を委嘱した。また、会議開催にあたっては、テキストデータによる資料提供、スライドによる資料説明、手話による通訳など、当事者への配慮に努めた。	実施	s	S	完了・内容や進め方が十分である
					27年度	継続	-	前年度の取組みを継続実施	実施	s	S	完了・内容や進め方が十分である
					28年度	継続	-	前年度の取組みを継続実施	実施	s	S	完了・内容や進め方が十分である
					29年度	継続	-	前年度の取組みを継続実施	実施	s	S	完了・内容や進め方が十分である
					30年度	継続	-	前年度の取組みを継続実施	実施	s	S	完了・内容や進め方が十分である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

3. 支え合い、共に生きるまちづくり

3-2 福祉教育の推進

単位施策	事業名	事業概要	備 考	No.	5年間の計画		事業費:千円	取り組み内容	進捗状況			委員会評価(案)
学校などでの福祉教育の充実	学生との交流機会やボランティア活動の支援	福祉教育の一環として、地域にある大学と連携し、障害のある人と学生の交流機会や学生における福祉ボランティア活動の支援を進めていきます。	市民協働課 地域福祉課 (福祉政策係) (地域支援係) こども課	3-2-1	26年度	チャレンジド夏祭りの開催 学生と地域及びNPOとのマッチング、提案型大学連携協働事業、大学生ボランティア謝礼による支援	150	市内小中高校で福祉実践教室を実施した。また、チャレンジド夏祭りを開催し、多数の学生ボランティア100名の協力を得ることができた。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					27年度	継続 にっしん協働担当連絡会議(行政と社会福祉協議会の連携)を行う NGV(日進長久手学生ボランティア)の組織化と事業支援	150	チャレンジド夏祭りを開催し、多数の学生ボランティア140名の協力を得ることができた。また、社協において、学生ボランティアグループのNGVの支援を行う中で、地域の子供たちと交流活動年4回実施した。学生を主体とした、また、活用した取り組みの検討及び事業を実施し、広く学生とのつながりを築きつつある。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					28年度	継続 わいわいフェスティバルにおける学生企画の実施と継続的な学生会議の開催	150	チャレンジド夏祭りを開催し、学生ボランティア122名の協力を得ることができた。また、わいわいフェスティバルにおいて学生企画を実施した。継続的に、さらに広く学生のつながりを作り、学生会議の開催など、学生を主体とした取り組みの検討及び事業を実施し、広く学生とのつながりを築いている。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					29年度	継続	150	チャレンジド夏祭りを開催し、学生ボランティア122名の協力を得ることができた。障害者施設での大学生ボランティアの受入を推進し、障害理解と活動の場の拡大を行った。 わいわいフェスティバルにおいて学生企画を実施した。 イベントをとおして交流した学生同士が学生主体のまちづくり団体「にっしんESD大学」を立ち上げ、それを支援した。継続的に学生によるまちづくりが行われる体制を構築した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					30年度	継続	150	チャレンジド夏祭りを開催し、学生ボランティア122名の協力を得ることができた。障害者施設での大学生ボランティアの受入を推進し、障害理解と活動の場の拡大を行った。 わいわいフェスティバルにおいて学生企画を実施。「にっしんESD大学」では2月に料理教室を開催し、地域の子どもたちと交流をおこなった。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
地域・企業における福祉教育の推進	当事者団体などの活動支援	地域における福祉教育を広げていくために当事者団体や支援団体などが実施する活動を支援していきます。	地域福祉課 (地域支援係)	3-2-2	26年度	精神保健福祉ボランティア支援事業や支援者向け研修を継続実施	962	平成25年度から、精神保健ボランティア関連講座の受講者によるボランティアグループ(すばる)が発足したため、グループ支援のためのフォローアップ研修などを開催した。 ※再掲のため以下略(No.2-3-3)	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					27年度	継続	953	障害者相談支援センター等において、人材育成事業を実施した。 ※再掲のため以下略(No.2-3-3)	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					28年度	継続	1,004	障害者相談支援センター等において、人材育成事業を実施した。 ※再掲のため以下略(No.2-3-3)	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					29年度	継続	935	障害者相談支援センター等において、人材育成事業を実施した。 ※再掲のため以下略(No.2-3-3)	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					30年度	継続	1,084	障害者相談支援センター等において、人材育成事業を実施した。 ※再掲のため以下略(No.2-3-3)	実施	a	A	内容や進め方が適切である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

3. 支え合い、共に生きるまちづくり

3-3 ボランティア活動などの推進

単位施策	事業名	事業概要	備 考	No.	5年間の計画		事業費:千円	取り組み内容	進捗状況		委員会評価(案)
ボランティア育成の推進	ボランティア養成講座などの開催	人材育成事業などにおいて、大学生や企業退職者など、新たなボランティアの掘り起こしを進めるとともに、養成講座などの内容を適宜見直し、市民ニーズに即し、地域課題の解決に必要なボランティアの養成講座などを開催していきます。	地域福祉課(地域支援係)市民協働課	3-3-1	26年度	聴覚障害者サポートボランティア養成講座の実施	962	長久手市と共催し、全4回、参加者5名にて養成講座を実施した。今後は、参加者の増加を目指し、長久手市と協議を行っている。	実施	a	B 内容や進め方が概ね適切であるが、一部修正が必要である(新たなボランティアの掘り起こしについても、検討すること)
					27年度	につしん協働担当連絡会議(行政と社会福祉協議会の連携)を行う	953	市民活動支援拠点となるにぎわい交流館とボランティアセンターの各担当者との協議の場を設けた。また、にぎわい交流館(市民活動支援センター)において、主に、学生、市民を対象にした講座(意見・情報交換会)を実施した。障害者相談支援センター等において、人材育成事業を実施した。※再掲のため、以下省略。(No.2-3-3)	実施	a	B 内容や進め方が概ね適切であるが、一部修正が必要である
					28年度	ボランティアセンター運営協議会の充実	1,004	にぎわい交流館(市民活動支援センター)において、主に市民、学生を対象にした講座(意見・情報交換会)を実施した。ボランティアセンター運営協議会において、NGV(日進・長久手学生ボランティア)に対する支援として、大学生に向けたボランティア情報の発信と活動への協働を行うこととし、新たな支援の枠組み作りを行った。障害者相談支援センター等において、人材育成事業を実施した。※再掲のため、以下省略。(No.2-3-3)	実施	a	B 内容や進め方が概ね適切であるが、一部修正が必要である
					29年度	ボランティアセンター強化の検討	935	障害者相談支援センター等において、人材育成事業を実施した。※再掲のため、以下省略。(No.2-3-3)	実施	a	B 内容や進め方が概ね適切であるが、一部修正が必要である
					30年度	事業実施	1,084	障害者相談支援センター等において、人材育成事業を実施した。※再掲のため、以下省略。(No.2-3-3)	実施	a	B 内容や進め方が概ね適切であるが、一部修正が必要である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

3. 支え合い、共に生きるまちづくり

3-3 ボランティア活動などの推進

単位施策	事業名	事業概要	備 考	No.	5年間の計画		事業費:千円	取り組み内容	進捗状況		委員会評価(案)	
ボランティアなど 福祉活動団体の 活動支援、連携 強化	人材育成支援員 の増強(再掲)	当事者団体やボラン ティア団体などの自 発的活動の支援やボ ランティアのコー ディネート機能の 強化、当事者団体な どの活動のバックア ップ支援などの取 組みを図って いくため、人材育成 事業の支援員(ボラン ティア コーディネーターな ど)を増加し、支援 を強化して いきます。	地域福祉課 (地域支援係)	3-3-2	26年度	精神保健福祉ボラン ティア支援 事業や支援者向け 研修を継続 実施	962	平成25年度から、精神保健ボランティア関連講座の受講者によるボランティアグループ(すばる)が発足したため、グループ支援のためのフォローアップ研修などを開催した。 ※再掲のため以下略(No.2-3-3) ボランティアコーディネーターの増加については未着手	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					27年度	継続	953	障害者相談支援センター等において、人材育成事業を実施した。 ※再掲のため以下略(No.2-3-3)	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					28年度	継続	1,004	障害者相談支援センター等において、人材育成事業を実施した。 ※再掲のため以下略(No.2-3-3)	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					29年度	継続	935	障害者相談支援センター等において、人材育成事業を実施した。 ※再掲のため以下略(No.2-3-3)	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					30年度	継続	1,084	障害者相談支援センター等において、人材育成事業を実施した。 ※再掲のため以下略(No.2-3-3)	実施	a	A	内容や進め方が適切である
地域福祉活動の 支援	地域福祉計画に 基づく地域福祉活 動の推進	平成26年度に「第2次日進市地域福祉計画」を策定し、計画に基づいた地域福祉活動の推進を図っていきます。	地域福祉課 (福祉政策係) (地域支援係)	3-3-3	26年度	第2次地域福祉計画を策定し、地域による障害者に対する支援策を掲載	1,650	日進市社会福祉協議会と協働で支えあいの地域社会の形成を目指す「にっしん幸せまちづくりプラン」(第2次日進市地域福祉計画・第4次日進市地域福祉活動計画)を策定した。策定にあたっては、公募市民や障害者支援事業所を含むの事業所の代表者等で構成する組織を立ち上げて、幅広い意見の反映に努めた。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					27年度	計画推進	-	計画に関する説明会を全19区の内、16区で開催。また、にぎわい交流館の市民団体交流会でも説明会を実施。計画推進の理解促進を行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					28年度	継続	-	計画に関する説明会を全19区で開催し、計画推進の理解促進を行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					29年度	継続	-	生活支援コーディネータ第1層(市全域)2名、第2層(市内3包括圏域)3名を配置した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					30年度	継続	-	生活支援コーディネーターを中心に、各地域において地域での助け合いに関する説明会を開催した。また、円卓会議を通じて協議体設置の必要性について周知することで、第2層協議体を3包括圏域全てにおいて立ち上げた。	実施	a	A	内容や進め方が適切である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

3. 支え合い、共に生きるまちづくり

3-4 防災・防犯対策の推進

単位施策	事業名	事業概要	備 考	No.	5年間の計画		事業費:千円	取り組み内容	進捗状況		委員会評価(案)
地域での防災体制の整備	☆災害時要援護者地域支援制度の周知	障害のある人やその家族などに災害時要援護者地域支援制度の周知を進めていきます。	危機管理課 地域福祉課 (地域支援係) 介護福祉課	3-4-1	26年度	区単位での地域支援組織を構築 複数の媒体や地域の会合における制度の周知	-	総務部危機管理課を中心として、区長始めとする関係者に要援護者の名簿を配布している。また、民生委員が地域とのパイプ役となって、制度の周知や名簿の登録の促進に努めている。そのほかホームページ、広報で周知を図った。対象者は、平成25年度935名から、991名に増加した。	実施	a	A 内容や進め方が適切である
					27年度	継続	-	総務部危機管理課を中心として、区長始めとする関係者に要援護者の名簿を配布している。また、民生委員が地域とのパイプ役となって、制度の周知や名簿の登録の促進に努めている。そのほかホームページ、広報で周知を図った。対象者は、平成26年度991名から、1,075名に増加した。	実施	a	A 内容や進め方が適切である
					28年度	継続	-	総務部危機管理課を中心として、区長始めとする関係者に要援護者の名簿を配布している。また、民生委員が地域とのパイプ役となって、制度の周知や名簿の登録の促進に努めている。そのほかホームページ、広報、障害者手帳等の交付手続きの際に、申請書の配布・受付を行い、周知を図った。対象者は、平成27年度1,075名から、1,071名となった。	実施	a	A 内容や進め方が適切である
					29年度	継続	-	総務部危機管理課を中心として、区長始めとする関係者に要援護者の名簿を配布している。また、民生委員が地域とのパイプ役となって、制度の周知や名簿の登録の促進に努めている。そのほかホームページ、広報、障害者手帳等の交付手続きの際に、申請書の配布・受付を行い、周知を図った。対象者は、平成28年度1,071名から、1,082名に増加した。 障害者手帳の交付手続の際に、申請書の配布・受付を行っている。	実施	a	A 内容や進め方が適切である
					30年度	継続	-	総務部危機管理課を中心として、区長始めとする関係者に要援護者の名簿を配布している。また、民生委員が地域とのパイプ役となって、制度の周知や名簿の登録の促進に努めている。そのほかホームページ、広報、障害者手帳等の交付手続きの際に、申請書の配布・受付を行い、周知を図った。登録者は、平成29年度1,083名から、1,051名となった。 障害者手帳の交付手続の際に、申請書の配布・受付を行っている。	実施	a	A 内容や進め方が適切である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

3. 支え合い、共に生きるまちづくり

3-4 防災・防犯対策の推進

単位施策	事業名	事業概要	備 考	No.	5年間の計画		事業費：千円	取り組み内容	進捗状況		委員会評価(案)	
防災・防犯の情報提供・緊急情報発信	☆緊急通報サービスの周知	聴覚に障害のある人など、音声による火災、救急などの通報が困難な人を対象に消防署などが実施している「Web119」「Web110番」などの緊急通報サービスの周知を行っています。	地域福祉課 (地域支援係)	3－4－2	26年度	尾三消防組合が行うWeb119、愛知県警察が行うWeb110の周知協力を継続して行う	-	につしんの福祉に掲載し、周知を行っている。Web119については聴覚に障害のある人を対象として説明会(隔年)を実施。対象者に対して、郵送で直接案内を行っている。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					27年度	継続	-	につしんの福祉、広報等で周知を図った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					28年度	継続(Web119からNET119への移行)	137	につしんの福祉に掲載し、周知を行っている。Web119から操作性や利便性が向上されたNET119の運用が新たに開始となり、聴覚に障害のある人を対象として説明会(隔年)を実施。対象者に対して、郵送で直接案内を行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					29年度	継続	137	尾三消防組合の広域化に伴い、NET119の説明会を改めて周知し、聴覚に障害のある人を対象として説明会を実施。対象者に対して、郵送で直接案内を行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					30年度	継続	-	につしんの福祉、広報等で周知を図った。また、聴覚に障害のある人を対象としてNTE119の説明会を実施(尾三消防本部主催)し、対象者に対して、郵送で直接案内を行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
防災対策の推進	支援マニュアルの配布	障害のある人などの支援マニュアルを避難所などに配布し、活用していきます。	危機管理課	3－4－3	26年度	防災訓練等を通じた、支援の要望の聞きとり	-	防災訓練時に参加者から支援の要望の聞き取りを行った。また、自立支援協議会主催の映画会などで、マニュアルを配布して周知に努めた。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					27年度	実地演習の実施にむけ調整	-	障害のある人を対象とし出前講座を行い、支援要望の聞き取りを行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					28年度	避難所運営訓練において、実地演習を行う	137	避難所運営訓練(講演)において、災害弱者への配慮・気付きが重要であることを説いた。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					29年度	継続	137	避難所開設運営訓練に、当事者団体の方々にも参加をいただき、各ブースにおける要配慮者への配慮(見守り、手伝い)について意見をいただくなどし、当事者の方が過ごしやすい良好な生活環境の確保に努めた。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					30年度	マニュアルを作成し、避難所等へ配布	871	避難所開設運営訓練に、当事者団体の方々にも参加をいただき、各ブースにおける要配慮者への配慮(見守り、手伝い)について意見をいただくなどし、当事者の方が過ごしやすい良好な生活環境の確保に努めた。	実施	a	A	内容や進め方が適切である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

3. 支え合い、共に生きるまちづくり

3-4 防災・防犯対策の推進

単位施策	事業名	事業概要	備 考	No.	5年間の計画		事業費:千円	取り組み内容	進捗状況		委員会評価(案)	
防犯対策の推進	障害福祉に関するホームページの作成(再掲)	障害福祉に関する情報を集約し提供するホームページなどにおいて、防犯知識・防犯対策などに関する情報を提供できるようにしていきます。	地域福祉課 (地域支援係) 生活安全課	3-4-4	26年度	他機関との連携を図り、情報提供に努める。	40	障害のある人を対象として、警察による空き巣などの防犯に関する劇を開催して情報提供に努めた。 ※HPに関しては再掲(No.1-2-4) 平成28年度実施に向けて、企画部局と協議を行ったが、具体的な検討には至らなかった。	実施	a	B	内容や進め方が概ね適切であるが、一部修正が必要である (ホームページの作成についても、進めること)
					27年度	継続	40	障害のある人を対象として、警察による空き巣などの防犯に関する劇を開催して情報提供に努めた。 ※HPに関しては再掲(No.1-2-4) 平成28年度実施に向けて、予算計上など準備を行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					28年度	継続	190	障害のある人を対象として、警察による空き巣などの防犯に関する劇を開催して情報提供に努めた。 ※HPに関しては再掲(No.1-2-4) 集約した情報を提供するための、障害者福祉センターのホームページを改修し、掲載内容について検討した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					29年度	継続	50	障害のある人を対象として、警察による空き巣などの防犯に関する講話を開催して情報提供に努めた。 架空請求詐欺の啓発を行った。 ※HPに関しては再掲(No.1-2-4) 障害者福祉センターのホームページを改修し、継続的な更新を行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					30年度	継続	50	障害のある人を対象として、警察による講話とともに特殊詐欺や住宅対象侵入等に関する啓発品を配布し、防犯に関する情報提供と支援を行った。 ※再掲(No.1-2-4) 障害者福祉センターのホームページの継続的な更新を行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

3. 支え合い、共に生きるまちづくり

3-4 防災・防犯対策の推進

消費生活トラブルの防止	☆消費者トラブルなどに関するパンフレットの配布	消費者トラブルや消費生活センターなどに関するパンフレットを配布するなど、消費生活トラブルに関する理解促進を進めていきます。	生活安全課 地域福祉課 (地域支援係)	3-4-5	26年度	消費生活トラブルに関する理解促進を継続	-	高齢者向けのあいち暮らしっく(消費者トラブルに関するパンフレット)を配布。 成人式で、若者向けのあいち暮らしっく(消費者トラブルに関するパンフレット)と啓発品を配布。 その他必要に応じて、消費生活相談窓口や消費者注意喚起情報を発信した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					27年度	継続	-	高齢者向けのあいち暮らしっく(消費者トラブルに関するパンフレット)を配布。 成人式で、啓発品を配布。 その他必要に応じて、消費生活相談窓口やホームページ等で消費者注意喚起情報を発信した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					28年度	継続	384	高齢者向けのあいち暮らしっく(消費者トラブルに関するパンフレット)を配布。 成人式で、啓発品を配布。 その他必要に応じて、消費生活相談窓口やホームページ等で消費者注意喚起情報を発信した。 翌年度から東郷町と連携、日進・東郷消費生活センターを開設のため、開設準備を行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					29年度	継続	568	高齢者向けのあいち暮らしっく(消費者トラブルに関するパンフレット)を配布。 市内の高校に若者向け消費者トラブルのパンフレットと啓発品を配布。 その他必要に応じて、消費生活相談窓口やホームページ等で消費者注意喚起情報を発信した。 東郷町と連携し、日進・東郷消費生活センターを開設した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					30年度	継続	350	東郷町と連携し、日進・東郷消費生活センターを開設して、相談業務を実施。 高齢者向けのあいち暮らしっく(消費者トラブルに関するパンフレット)を配布。 市内の高校に若者向け消費者トラブルのパンフレットと啓発品を配布。 老人会などで消費者トラブル未然防止のための出前講座を開催。 その他必要に応じて、消費生活相談窓口やホームページ等で消費者注意喚起情報を発信した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

3. 支え合い、共に生きるまちづくり

3-5 バリアフリーの推進

単位施策	事業名	事業概要	備 考	No.	5年間の計画		事業費：千円	取り組み内容	進捗状況		委員会評価(案)	
公共施設・民間建築物などのバリアフリー化の誘導	緊急警報器の設置	障害のある人などが集まる公共施設などにおいて、回転灯などの付いた緊急警報器の設置を進めていきます。	地域福祉課 (地域支援係) 各施設所管課	3－5－1	26年度	公共施設に緊急警報器の設置	680	聴覚に障害のある人に現地でヒアリングを行い、中央福祉センター(食堂、多機能室、集会室、小会議室、視聴覚室)・障害者福祉センター(大会議室、小会議室、ロビー)にパトライト(自動火災報知設備)を設置した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					27年度	継続	-	未実施	未着手	d	D	実施に向け検討する必要がある
					28年度	継続	-	未実施	未着手	d	D	実施に向け検討する必要がある
					29年度	継続	-	日進・長久手・東郷聴覚障害者協会に対し、公共施設に対する回転灯の必要性についてヒアリングを行い、追加検討を行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					30年度	継続	-	公共施設に必要な回転灯について検討を行った結果、現状で十分との回答が得られたため、回転灯の設置については完了とした。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
公共交通機関・道路交通環境の整備など	法令基準の遵守指導	民間の施設などの新設・改築などにおいて、法令による基準を遵守するよう指導していきます。	都市計画課 建築課	3－5－2	26年度	新築・改築などを行う場合、バリアフリー法、人にやさしい街づくりの推進に関する条例、米野木周辺バリアフリー基本構想等を遵守するよう指導を行う	-	建設経済部建築課にて、新築・改築の相談等があった案件については、法令等を遵守するよう指導を行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					27年度	継続	-	建設経済部建築課にて、新築・改築の相談等があった案件については、法令等を遵守するよう指導を行った。また、米野木駅周辺バリアフリー基本構想で建築物特定事業に位置付けているJAあいち尾東米野木支店の建築については、建設経済部都市計画課にて、基本構想に基づいた指導を行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					28年度	継続	-	建設経済部建築課にて、新築・改築の相談等があった案件については、法令等を遵守するよう指導を行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					29年度	継続	-	建設経済部建築課にて、新築・改築の相談等があった案件については、法令等を遵守するよう指導を行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					30年度	継続	-	建設経済部建築課にて、新築・改築の相談等があった案件については、法令等を遵守するよう指導を行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)に基づく事業シート

3. 支え合い、共に生きるまちづくり

3-5 バリアフリーの推進

単位施策	事業名	事業概要	備 考	No.	5年間の計画		事業費:千円	取り組み内容	進捗状況		委員会評価(案)	
住まいのバリアフリー化の推進	リフォームヘルパー事業の活用	障害のある人の状況に適した住宅環境の改善の相談・助言を行うリフォームヘルパー事業の周知を図り、その活用を図っていきます。	介護福祉課	3-5-3	26年度	リフォームヘルパー事業の周知	-	につしんの福祉、広報等で周知を行った。26年度は障害のある人の住宅に2件訪問し、ご本人の状況に適した助言・相談を行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					27年度	継続	-	につしんの福祉、広報等で周知を図った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					28年度	継続	-	につしんの福祉、広報等で周知を行った。28年度は障害のある人の住宅に2件訪問し、ご本人の状況に適した助言・相談を行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					29年度	継続	-	につしんの福祉、広報等で周知を行った。29年度は障害のある人の住宅に2件訪問し、ご本人の状況に適した助言・相談を行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					30年度	継続	-	につしんの福祉、広報等で周知を行った。30年度は障害のある人の住宅に1件訪問し、ご本人の状況に適した助言・相談を行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
情報のバリアフリー化の推進	☆文字データの提供体制づくり	電子機器の発達により、文字データがあれば、点字ディスプレイや音声変換などにより、情報の取得方法を選択することが可能となります。そのため、広報やパンフレットなどの文字データを提供する体制づくりを進めています。	地域福祉課 (地域支援係) 秘書広報課 議事課 介護福祉課	3-5-4	26年度	行政資料音訳・点訳事業を継続実施	1,251	行政資料音訳・点訳事業を継続実施した。広報につしん、議会だよりをはじめ、家庭ごみ&資源の分け方・出し方、保健センターガイド、介護保険ガイドブック等を行っているが、対象行政資料の拡大を検討する必要がある。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					27年度	継続	1,207	行政資料音訳・点訳事業を継続実施した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					28年度	継続	1,275	行政資料音訳・点訳事業を継続実施した。広報につしん、議会だよりの音訳・点訳・ホームページで音訳データの掲載をした。につしんの福祉の音訳・音訳資料の配布をした。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					29年度	継続	1,105	行政資料音訳・点訳事業を継続実施した。広報につしんの音訳データをホームページに掲載した。他、希望者には音訳版テープ、CDを配布した。議会だよりの音訳・点訳・ホームページで音訳データの掲載をした。につしんの福祉音訳、障害福祉計画点訳を行った。	実施	a	A	内容や進め方が適切である
					30年度	継続	1,949	行政資料音訳・点訳事業を継続実施した。広報につしんの音訳データをホームページに掲載した。他、希望者には音訳版テープ、CDを配布した。	実施	a	A	内容や進め方が適切である

第2次日進市障害者基本計画(後期計画)の実施状況

No.	単位施策			事業名
1	1-2	2	障害者自立支援協議会の機能強化	☆推進体制の見直し
2	1-2	3	権利擁護の推進	☆虐待防止ネットワークの設置
3	2-1	2	雇用・就労機会の拡大促進	☆就労支援事業所の開設支援
4	3-1	3	まちづくりや市政への参加の保障	障害のある人の参加保障
5	1-1	1	障害福祉計画の策定と推進	地域生活支援事業などの見直し
6	1-1	2	居住の場の確保支援	グループホーム整備の支援
7	1-4	1	障害の原因となる疾病の予防	健康診査などの受診促進
8	1-4	2	障害に対する適切な受診支援	合理的配慮に対する意識啓発
9	2-1	3	福祉的な就労機会の充実	☆優先発注の仕組みづくり
10	2-2	3	スポーツ・文化施設などのバリアフリー化	公共施設のバリアフリー化
11	2-3	1	当事者団体などによるレクリエーションなどの活動支援	☆当事者団体などの活動支援
12	2-3	2	ピアカウンセリングの促進	親の会などの育成
13	2-3	3	当事者団体設立や継続的な運営に対する支援	人材育成支援員の増強
14	3-2	1	学校などでの福祉教育の充実	学生との交流機会やボランティア活動の支援
15	3-2	2	地域・企業における福祉教育の推進	当事者団体などの活動支援
16	3-3	2	ボランティアなど福祉活動団体の活動支援、連携強化	人材育成支援員の増強(再掲)
17	3-3	3	地域福祉活動の支援	地域福祉計画に基づく地域福祉活動の推進
18	3-4	1	地域での防災体制の整備	☆災害時要援護者地域支援制度の周知
19	3-4	2	防災・防犯の情報提供・緊急情報発信	☆緊急通報サービスの周知
20	3-4	3	防災対策の推進	支援マニュアルの配布
21	3-4	5	消費生活トラブルの防止	☆消費者トラブルなどに関するパンフレットの配布
22	3-5	2	公共交通機関・道路交通環境の整備など	法令基準の遵守指導
23	3-5	3	住まいのバリアフリー化の推進	リフォームヘルパー事業の活用
24	3-5	4	情報のバリアフリー化の推進	☆文字データの提供体制づくり
25	3-3	1	ボランティア育成の推進	ボランティア養成講座などの開催
26	3-4	4	防犯対策の推進	障害福祉に関するホームページの作成(再掲)
27	1-1	3	集いの場・居場所づくり	☆親同士の交流の場の提供
28	1-3	1	障害の早期発見・早期対応の推進	専門職員の拡充
29	1-3	4	家族支援の充実	☆親同士の交流の場の提供(再掲)
30	1-3	2	乳幼児期から就学前における支援	☆専門員の助言などを受ける場の提供
31	2-4	2	移動・外出支援の促進	連携した移動支援などの支援
32	3-1	1	啓発・広報活動の推進	☆合理的配慮に関するパンフレットなどの作成
33	3-1	2	差別偏見をなくすための取り組み	障害差別の禁止や合理的配慮に関する市職員対応要領の作成
34	1-2	4	情報提供の充実	障害福祉に関するホームページなどの検討
35	2-2	1	障害者スポーツ・レクリエーションの振興	合理的配慮に対する意識啓発
36	2-2	2	文化活動の推進	合理的配慮に対する意識啓発
37	1-3	3	就学後から青年期に向けた支援	就労を想定した取り組みなどの支援検討
38	2-4	1	移動・外出支援の促進	リフトタクシーの利用促進
39	1-2	1	相談支援体制の充実	就労や生活支援の専門員・総合支援コーディネーターの配置検討
40	2-1	1	総合的な就労支援体制の確立	生活訓練・生活サポート事業の検討
41	2-4	3	経済的自立の支援	総合的な就労支援体制の確立【関連：2－1(1)】
42	3-5	1	公共施設・民間建築物などのバリアフリー化の誘導	緊急警報器の設置

H30 進捗状況		委員会 評価	H29 進捗状況		委員会 評価	H28 進捗状況		委員会 評価	H27 進捗状況		委員会 評価	H26 進捗状況		委員会 評価
実施	s	S	実施	s	S	実施	s	S	実施	s	S	実施	s	S
		S			S			S			S			
		S			S			S			S			
		S			S			S			S			
実施	a	A	実施	a	A	実施	a	A	実施	a	A	実施	a	A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
		A			A			A			A			A
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A	A										
A	A	A	A											